

太田記念美術館収蔵品展

2011年12月1日(木)～12月18日(日)

(12月5、12日は休館致します。)

太田記念美術館

階	作者	画題	年代
1階	西川祐信	六月祓図	絹本着色一幅 元文～延享(1736～48)頃
	宮川長春	縁台の遊女図	絹本着色一幅 享保～寛保(1716～44)頃
	菊川英山	二美人図	絹本着色双幅 文化(1804～18)頃
	蹄齋北馬	海辺の美人	絹本着色一幅 文政～天保(1818～44)頃
	歌川広重	海辺遠望	絹本着色一幅 嘉永～安政(1848～1860)頃
	二代鳥居清信	瀧中歌川のお染 浅尾和歌之丞の久松	元文5年(1740)正月
	鳥居清満	梅の枝を折る男女	明和～安永(1764～81)頃
	石川豊信	新田三幅対	延享～宝暦(1744～64)頃
	鈴木春信	二代目坂東彦三郎の虚無僧	宝暦12年(1762)正月
	磯田湖龍齋	遊舟を見る楼上美人	明和～安永(1764～81)頃
	歌川豊春	江戸名所上野仁王門之図	明和7年(1770)頃
	勝川春好	二代目中村助五郎 二代目山下金作	安永(1772～81)頃
	勝川春潮	文出す美人	天明(1781～89)頃
	勝川春英	柏戸宗五郎	寛政後期(1795～1801)
	勝川春扇	浮絵 芝三縁山増上寺之図	文化～文政(1804～30)頃
	勝川春亭	新浮絵品川之図	文化後期(1811～18)頃
	鳥居清長	湯上がり美人	安永(1772～81)頃
	鳥居清長	山姥と金太郎	享和2年(1802)カ
	喜多川歌麿	母と子	寛政後期(1797～1801)頃
	喜多川歌麿	江の島岩屋	寛政2年(1790)以降
喜多川歌麿	なくて七癖 子を愛癖	寛政後期(1797～1801)頃	
喜多川歌麿	婦人手業拾二工 伸子張	寛政10～11年(1798～99)頃	
2階	北尾政美	浮絵 東都新吉原夕暮之景	寛政前期(1789～94)頃
	鳥文齋栄之	舟上二美人	天明後期～寛政前期(1786～1793)頃
	鳥高齋栄昌	舟遊び	寛政後期(1796～1801)
	菊川英山	七小町かよひ	文化(1804～18)頃
	菊川英山	七小町 内 あまこひ	文化(1804～18)頃
	菊川英山	青楼六玉川 玉川の里 扇屋内花染	文化後期(1811～18)頃
	菊川英山	御祭礼児童遊び 三枚続	文化8～11年(1811～14)頃
	歌川豊国	やつし吉野川	寛政前期(1789～93)頃
	歌川豊国	洗張	寛政中期(1794～96)
	歌川豊国	東都見立呉服屋八景 岩城升やの落雁	文政前期(1818～24)頃
	歌川国長	新板浮画 上野東叡山之図	文化～文政(1804～30)頃
	歌川国虎	浮絵 隅田川梅若宮雪見之図	文政～天保(1818～44)頃
	歌川国員	紅毛渡り名鳥	文久3年(1863)
	溪齋英泉	浮世風俗美女競 婉伸郎膝中何処不可憐	文政前期(1818～24)頃

溪斎英泉	棧橋の二美人	天保中期(1835~37)頃
溪斎英泉	東都名所尽 司馬増上寺之図	文政後期~天保前期(1825~34)頃
溪斎英泉	江戸八景 吉原の夜雨	天保14~弘化3年(1843~46)頃
溪斎英泉	江戸不忍弁財天之春景	弘化(1844~48)頃
歌川国貞	当世美人合 合せ鏡 化粧の美人	文政(1818~30)頃
歌川国貞	美女競 辰巳	文政後期(1825~30)頃
歌川国貞	当世美人合 辰巳	天保前期(1830~36)頃
歌川国貞	曾我兄弟十番切図	文政前期(1818~24)頃
歌川国貞	曾我十番切ノ図	天保前期(1830~36)頃
歌川国芳	羽子板を持つ娘	天保末期(1841~44)頃
歌川国芳	隅田川の春景	弘化4~嘉永3年(1847~50)頃
歌川国芳	高祖御一代略図 佐州流刑角田波題目	天保中期(1835~39)頃
歌川国芳	高祖御一代略図 文永十一年五月廿八日小室山法論石	天保中期(1835~39)頃
歌川国芳	本朝武者鏡 渡邊綱	安政2年(1855)4月
歌川国芳	木曾街道六十九次之内 望月 怪童丸	嘉永5年(1852)6月
歌川国芳	木曾街道六十九次之内 大久手 一ツ家 老婆	嘉永5年(1852)7月
歌川国芳	東都名所 両国柳ばし	天保3~4年(1832~33)頃
歌川国芳	東都橋場之図	天保2~3年(1831~32)頃
歌川広重	江都名所 かすみかせき	天保(1830~44)頃
歌川広重	江戸名所 赤羽根水天宮	安政5年(1858)3月
歌川広重	浪花名所図会 安立町難波屋のまつ	天保5年(1834)頃
歌川広重	京都名所之内 八瀬之里	天保5年(1834)頃
歌川広重	京都名所之内 金閣寺	天保5年(1834)頃
歌川貞秀	新板浮絵 飛鳥山之図	天保(1830~44)頃
歌川貞秀	長崎丸山之図	天保(1830~44)頃カ
歌川芳虎	鏡岩浜之助	天保14~弘化3年(1843~46)頃
歌川芳虎	黒雲竜五郎	天保14~弘化3年(1843~46)頃
歌川芳虎	新撰江戸名所 八ツ見橋の図	安政2年(1855)9月
歌川芳虎	当世十二時之内 丑之刻	明治3年(1870)閏10月
歌川芳員	道化狂画	安政5年(1858)4月
歌川芳員	東都名所柳嶋妙見堂	嘉永6年(1853)6月
歌川芳幾	猛虎之写真	万延元年(1860)7月
歌川芳幾	真写月花之姿絵 四代目中村芝翫	慶応3年(1867)
歌川芳幾	真写月花之姿絵 五代目坂東彦三郎	慶応3年(1867)3月
歌川芳幾	時世粧年中行事 酌婦天地人極製	明治元年(1868)
二代歌川広重	江戸名所 両国納涼	安政6年(1859)2月
二代歌川広重	江戸名勝図会 大門通	文久2年(1862)閏8月
二代歌川広重	隅田川八景 白髭落雁	文久元年(1861)11月
二代歌川広重	隅田川八景 関屋之里 晴嵐	文久元年(1861)
二代歌川広重	隅田川八景 吾妻橋帰帆	文久元年(1861)
二代歌川国輝	東京府下煉化石従商家京橋観之図	明治初期(1868~??)頃
豊原国周	見立昼夜廿四時之内 午后一時	明治23年(1890)10月
豊原国周	見立昼夜廿四時之内 午前五時	明治23年(1890)10月